News Release

2026 年 11 月 10 日
株式会社オンワードホールディングス
コーポレートコミュニケーション室

吉祥寺クリエイターとの共創プロジェクトを始動
第一弾・写真家 高島空太さんとのコラボ商品を 11 月 12 日（木）発売

株式会社オンワードホールディングス（本社：東京都中央区 代表取締役社長：保元 道宣）は、回収した衣料品を活用して新たな価値を創造する『アップサイクル・アクション』の新たな取り組みとして、吉祥寺を拠点に活動するクリエイターとの共創プロジェクト「LOCAL RE:VALUE～吉祥寺のクリエイターと、服に新たな価値を～」を始動します。



「LOCAL RE:VALUE～吉祥寺のクリエイターと、服に新たな価値を～」は、吉祥寺に拠点を持つクリエイターとともに、回収衣料へ新たな価値を再創出（Re-Value）するプロジェクトです。当社のリユース品を販売する唯一の直営実店舗である「オンワード・リユースパーク 吉祥寺」を地域との接点として活用し、循環型社会の実現と地域文化の発信の両立を目指します。

本プロジェクト第一弾となる写真家 高島空太さんとのコラボ商品を、11 月 12 日（木）から、「オンワード・リユースパーク 吉祥寺」にて、販売を開始します。また、高島さんを講師に招いたコラージュワークショップを、2027 年 2 月に開催予定です。

今後は、吉祥寺のカルチャーに根差したデザイン、リメイク、漫画など多様なジャンルのクリエイターとの共創を通じて、アップサイクルの可能性を広げていきます。

■第一弾　商品概要

当社が回収した衣料品にクリーニングを施し、その衣料品に写真家　高島空太さんによる吉祥寺の街並みをモチーフとした作品のデザインをＴシャツにプリントしました。

【高島空太さん コメント】

本企画のキーワードの一つである「吉祥寺」の街の写真を、もともと完成している作品をベースに断片として落とし込み、再構築・リメイクしました。本企画がなければ生まれることのなかった世界が誕生しています。ゆっくりと混じり合い、新たに生まれたこれら 2 つの作品世界の中に、もしかしたら見覚えのある感覚を発見するかもしれません。

発 売 日：2026 年 11 月 12 日（木）
販売場所：オンワード・リユースパーク 吉祥寺
販売価格：6,600 円(税込)

■高島空太/ Kuta TAKASHIMA プロフィール

写真家、現代作家。「Kuta TAKASHIMA STUDIO」 代表。1988 年生まれ。山梨大学教育人間科学部芸術運営コースを卒業。

東京都武蔵野市吉祥寺をベースに活動する。芸術家の両親と、画家・音楽家・作家でもある伯父に大きな刺激と影響を受けて育ち、写真は独学による。作品は、日々カメラを持ち歩き、膨大な数の写真を撮ることから始まる。蓄積した日常の断片から、いくつもの時間軸や場所、複数の要素を合わせていき、ひとつのイメージを再構築していく。主な受賞歴にキヤノン写真新世紀 2012 佳作入賞、キヤノン写真新世紀 2016 優秀賞受賞。清里フォトアートミュージアムに作品が収蔵されている。

■今後参加するクリエイター（予定）



デザイナー　前田航希

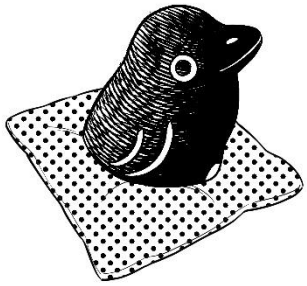
2000 年、新潟県生まれ。吉祥寺を拠点に活動するモンスター化デザイナー／グラフィックデザイナー／イラストレーター。株式会社クラウドボックス所属。

広告やブランディングを中心としたデザイン制作に携わる傍ら、人の顔と動物を組み合わせた「モンスター似顔絵」を商業施設などで描く。また、身近なモノと動物を掛け合わせた「モノモンスター」シリーズのイラスト制作や、吉祥寺を舞台にしたキャラクタープロジェクト「キチジョージモンスター」にも取り組んでいる。



リメイクファッションデザイナー　菊地千春

秋田県出身。バンタンデザイン研究所在学中に原宿系ファッションブランド『Candy stripper』立ち上げ。1995 年～2008 年まで Candy stripper デザイナーを務める。2008 年～2018 年拠点を中国に移し、上海でフリーのデザイナー、スタイリストとして活動。2018 年出産を機に帰国。2022 年～ファッションリメイクブランド『Mother's made』本格始動。東京吉祥寺駅徒歩 30 秒の雑居ビルに直営店あり。



漫画家　小出もと貴

漫画家。講談社「月刊少年ライバル」にてデビュー。同社「モーニング」にて連載の『アイリウム』は、『世にも奇妙な物語 '18 春の特別編』で『明日へのワープ』のタイトルでドラマ化された。2023 年、同社「コミック DAYS」にて生物学を題材としたラブコメディ『あくまでクジャクの話です。』を連載中。



アーティスト　Sn

東京都出身。武蔵野美術大学視覚伝達デザイン学科卒業。
S.Ltd.代表。デザイナー／アーティストとして広告や出版、アパレル等の分野で活動。
『We Love Kichijoji バンダナ』シリーズのグラフィックデザインを手がける。
日本大学芸術学部デザイン学科非常勤講師。

■当社が「アップサイクル・アクション」をスタートした背景

オンワードグループは、2009 年から自社の衣料品を引き取る「オンワード・グリーン・キャンペーン」を行っています。約 17 年間で累計約 201 万名のお客さまから約 1,031 万点の衣料品を引き取りました。
引き取った衣料品はリユース・リサイクルを行い、廃棄をせずに循環させることをポリシーに取り組みを進めてきました。2023 年春からはオンラインでの引き取りもスタートし、参加者も増加しています。

そんな中、これまでリサイクルでは毛布や軍手、固形燃料に活用してきましたが、新たな活用方法としてファッション企業ならではのクリエイション力を活かした「アップサイクル・アクション」をスタートしました。
これまで本プロジェクトには、社員がクリエイターとして参加するほか、ファッション業界を志す学生や小中学生などが参加しています。
当社社員が制作した作品はこちら：https://crosset.onward.co.jp/shop/re usepark





過去のプレスリリース
https://www.onward-hd.co.jp/release/2026/20260901.html
https://www.onward-hd.co.jp/release/2024/20240216.html

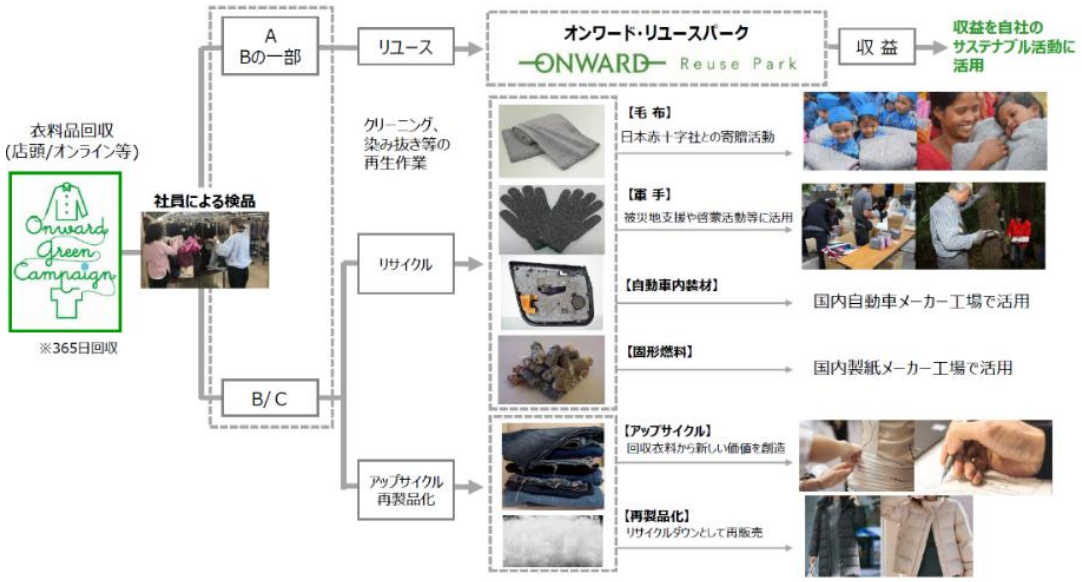
■「オンワード・グリーン・キャンペーン」について

オンワードグループのサステナブル経営推進の一環として、ご愛用いただいた自社の衣料品をお客さまから引き取り、可能な限りリユース・リサイクルすることを通じて、衣料品循環システムの構築を目指す取り組みです。

引き取った衣料品は、リサイクルして RPF に再生し代替エネルギーとして利用するほか、繊維製品の原料となるリサイクル糸を作り毛布や軍手を生産。毛布は日本赤十字社の協力のもと、国内外の被災地や開発途上国への支援に活用しています。軍手は、災害支援、森林保全、啓蒙活動など様々な場面で配布しています。

また、まだ使用できる一部の衣料品は、環境コンセプトショップ「オンワード・リユースパーク」（東京・吉祥寺/EC サイト）にてチャリティー価格で提供し、その収益をサステナブル活動に役立てています。

「オンワード・グリーン・キャンペーン」公式サイト URL：https://www.onward.co.jp/green_campaign/



■リユース品を販売する「オンワード・リユースパーク」について

お客さまの不要になった衣料品を回収し、自社で 4 ～ 5 回の検品を行い、基準に達したリユース衣料品を販売しています。

吉祥寺にある店舗では常時 3,000 点以上のリユース品を取り揃え、チャリティー価格で提供し、収益は全て当社のサステナブル活動に活用しています。

＜店舗概要＞

住所　　：〒180-0004　東京都武蔵野市吉祥寺本町 1 丁目 4 番 14 号　ミヤケビル 1～3F
TEL　　：0422-23-0900
営業時間　　：11:00～19:00
定休日　　：不定休
URL　：https://www.onward-reusepark.jp/
ONLINESHOP：https://crosset.onward.co.jp/shop/reusepark

■株式会社オンワードホールディングス 概要

1927 年に「樫山商店」として創業しました。現在は、「ファッション」「ウェルネス」「コーポレートデザイン」の 3 つの領域における事業を推進するとともに、海外においては、「ヨーロッパ」「アメリカ」「アジア」の 3 地域でビジネスを展開しています。

ミッションステートメントである「ヒトと地球（ホシ）に潤いと彩りを」のもと、“社員の多様な個性をいかしたお客さま中心の経営”により、地球と共生する“潤いと彩り”のある生活づくりに貢献する「生活文化創造企業」として前に進み続けます。

設立：1947 年(昭和 22 年）9 月 4 日
代表者：代表取締役社長　保元　道宣
本社：〒103-8239 東京都中央区日本橋 3 丁目 10 番 5 号オンワードパークビルディング
URL：https://www.onward-hd.co.jp/